

VOL.  
111

# 枚方市 商工だより

《令和元年下半期 7月～12月》

## 目次

調査の方法	2
概要	3
前期との比較	4
自由意見	9
枚方市(商工振興課)からのお知らせ	13
キラリ輝く枚方の事業者紹介	14

# 調査の方法

本調査は、枚方市の委託事業として北大阪商工会議所が実施しているもので、地域経済の総合的な動向を把握することで、産業振興のための基礎資料として利用するとともに、地域の経営者等へ情報提供している。

調査対象は、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食店、サービス業の6業種で、市内の主要な産業を網羅している。

調査方法は、往復はがきによるアンケート方式で、2020年1月に900社に発送し、回答期限までに271社から回答が得られた。

集約業種名	母集団	回答数	回答率	
製造業	258	95	36.8	
非製造業	建設業	175	44	25.1
	卸売業	41	15	36.6
	小売業	115	28	24.3
	飲食店	70	13	18.6
	サービス業	241	76	31.5
非製造業計	642	176	27.4	
合計	900	271	30.1	

表1. 業種別回答状況

全体の回答率は30.1%で、業種別・規模別回答状況は、表1、表2の通りである。

規模別	製造業			非製造業			全体		
	母集団	回答数	回答率	母集団	回答数	回答率	母集団	回答数	回答率
1～3人	43	6	14.0	220	47	21.4	263	53	20.2
4～9人	56	12	21.4	237	63	26.6	293	75	25.6
10～19人	49	20	40.8	84	27	32.1	133	47	35.3
20～29人	16	8	50.0	37	15	40.5	53	23	43.4
30～49人	28	16	57.1	27	12	44.4	55	28	50.9
50～99人	23	14	60.9	17	6	35.3	40	20	50.0
100～199人	26	10	38.5	13	4	30.8	39	14	35.9
200～299人	5	2	40.0	3	2	66.7	8	4	50.0
300人以上	12	7	58.3	4	0	0.0	12	7	58.3
合計	258	95	36.8	642	176	27.4	900	271	30.1

表2. 規模別回答状況

大阪府では四半期毎調査、本市では半期毎調査を実施しており、直接比較できない項目が存在する場合がある。

D.Iは「上昇または増加等の企業の割合(%)」から「下降または減少等の企業の割合(%)」を差し引いたもので、プラスは上昇・増加・黒字基調・順調等の企業が上回り(景気の上向き傾向)、マイナスは下降・減少・赤字基調・窮屈等の企業割合が上回ったこと(景気の下向き傾向)を示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

$$D.I = (\text{増加・順調などの回答割合}) - (\text{減少・窮屈などの回答割合})$$

$$\text{例. 業況・採算: (黒字) - (赤字) \quad \text{売上: (増加) - (減少)}$$

# 概要

景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。

\*内閣府発表 月例経済報告（1月）による

## 枚方市の概要

製造業は、売上が3期連続で減少しており、単価も大幅に下がっている。原材料の仕入価格は引き続き高い水準にあるものの値上り傾向は落ち着いてきている。営業利益・採算状況ともに大幅に減少傾向となり、過去最低を更新しており、資金繰りも4期連続で悪化傾向が強まっている。設備投資はほぼ横ばいとなり、雇用不足感もやや弱まってはきているが、来期の業況見通しは前期に引き続き暗い見通しとなっている。

非製造業は、売上は増加傾向にあり、単価もほぼ横ばいとなっており、仕入価格の値上り傾向もやや落ち着いてきたため、営業利益は増加傾向にある。採算状況・資金繰りともに悪化傾向が弱まり、設備投資も増加傾向にはあるが、雇用不足感は強まってきており、来期の業況見通しは前期に引き続き暗い見通しとなっている。

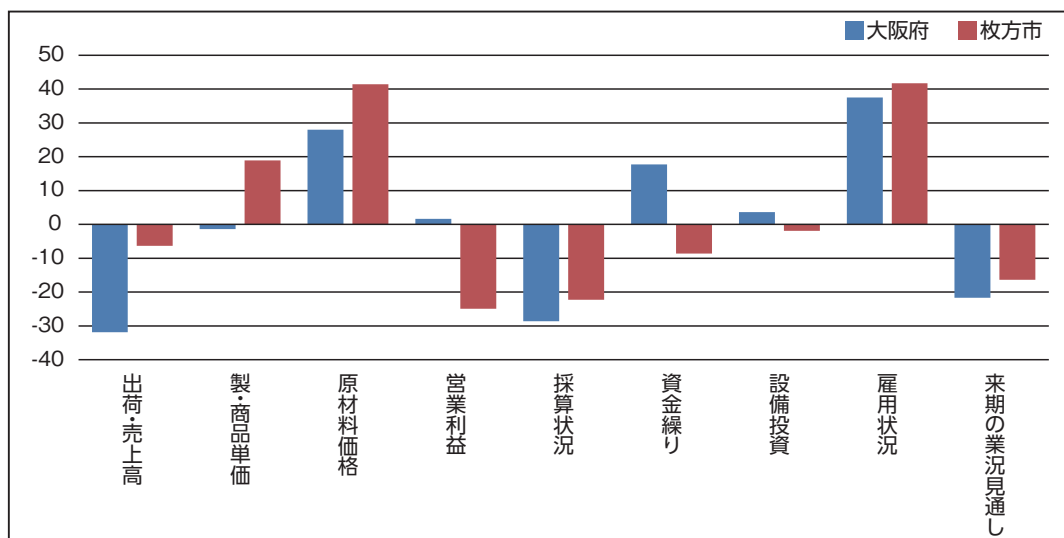
	出荷・売上高	製・商品単価	原材料価格	営業利益	採算状況	資金繰り	設備投資	雇用状況	来期の業況見通し
製造									
非製造									

D.I値： … 5以上 … -5～5未満 … -15～-5未満 … -25～-15未満 … -25未満

※原材料価格および雇用状況に関しては、数値を反転して評価する。

## D.Iまとめ（大阪府との比較）

出荷・売上高はマイナスではあるものの、大阪府よりマイナス幅が25.6ポイント小さく、製・商品単価も大阪府がマイナスに対してプラスとなっている。ただし、原材料価格は13.4ポイント値上り傾向が強いこともあり、営業利益は大阪府がプラスに対してマイナスとなっている。採算状況のマイナス幅は大阪府より6.3ポイント小さいものの、資金繰り及び設備投資は大阪府がプラスに対してマイナスとなっている。雇用状況は大阪府より4.2ポイント雇用不足感が強まっているものの、来期の業況見通しは大阪府より5.3ポイント明るい。



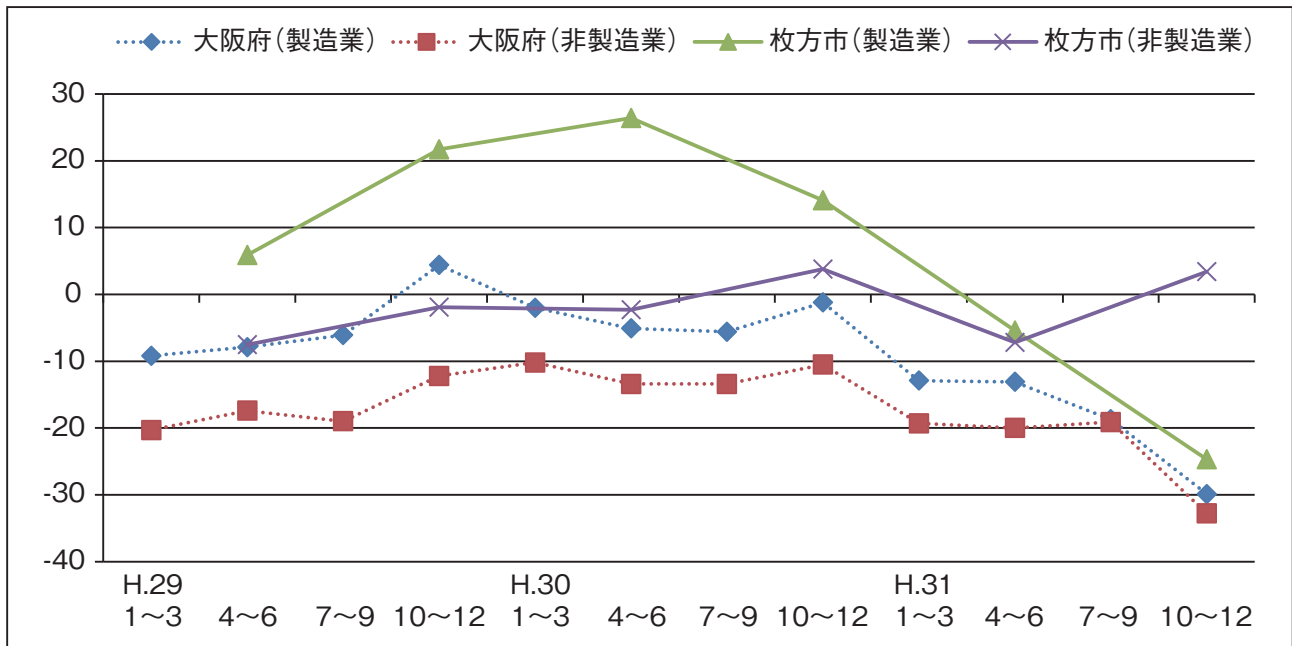
# 前期との比較

## ● 出荷・売上高D I

製造業は3期連続で減少傾向となった。

非製造業は建設業と小売業が増加傾向となり、D.Iがプラスに転じた。

大阪府は製造業・非製造業ともに前期に引き続き減少傾向となった。

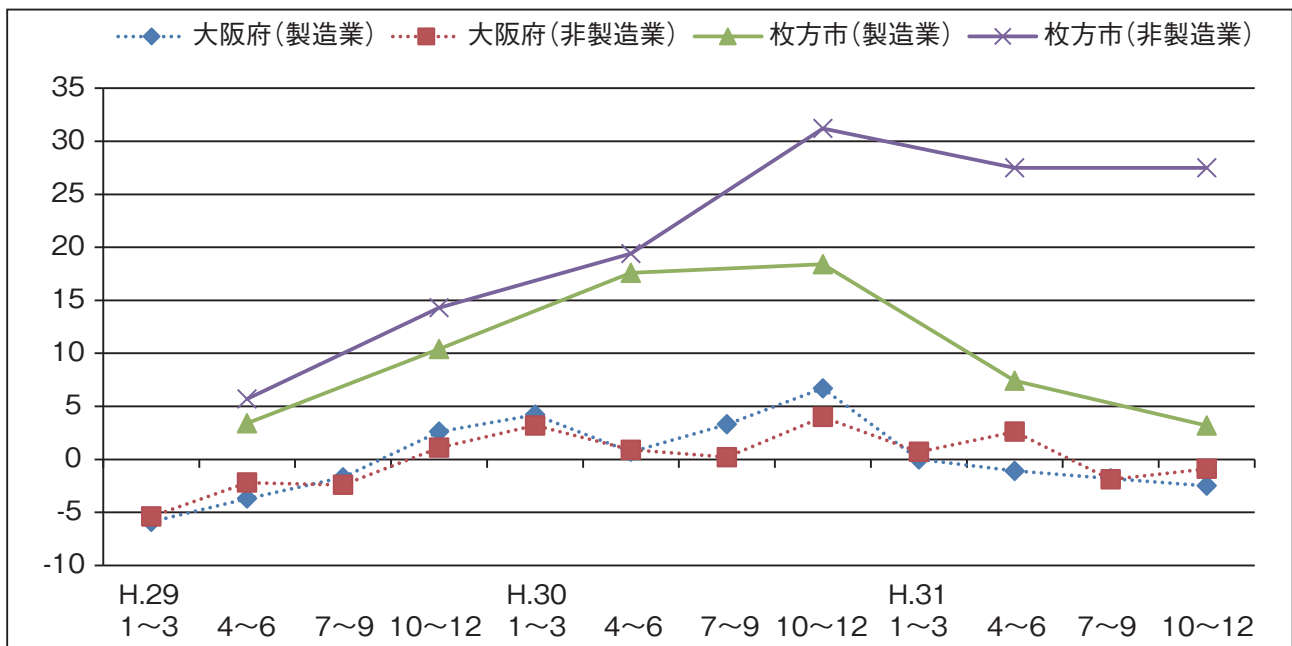


## ● 製・商品、サービス、請負・客等の単価

製造業は2期連続の値下がり傾向となり、過去最低の水準となった。

非製造業は卸売業・飲食店は値下り傾向にあったが、全体では横ばいとなった。

大阪府は、製造業は前期に引き続き値下り傾向にあるが、非製造業は若干の値上り傾向にある。

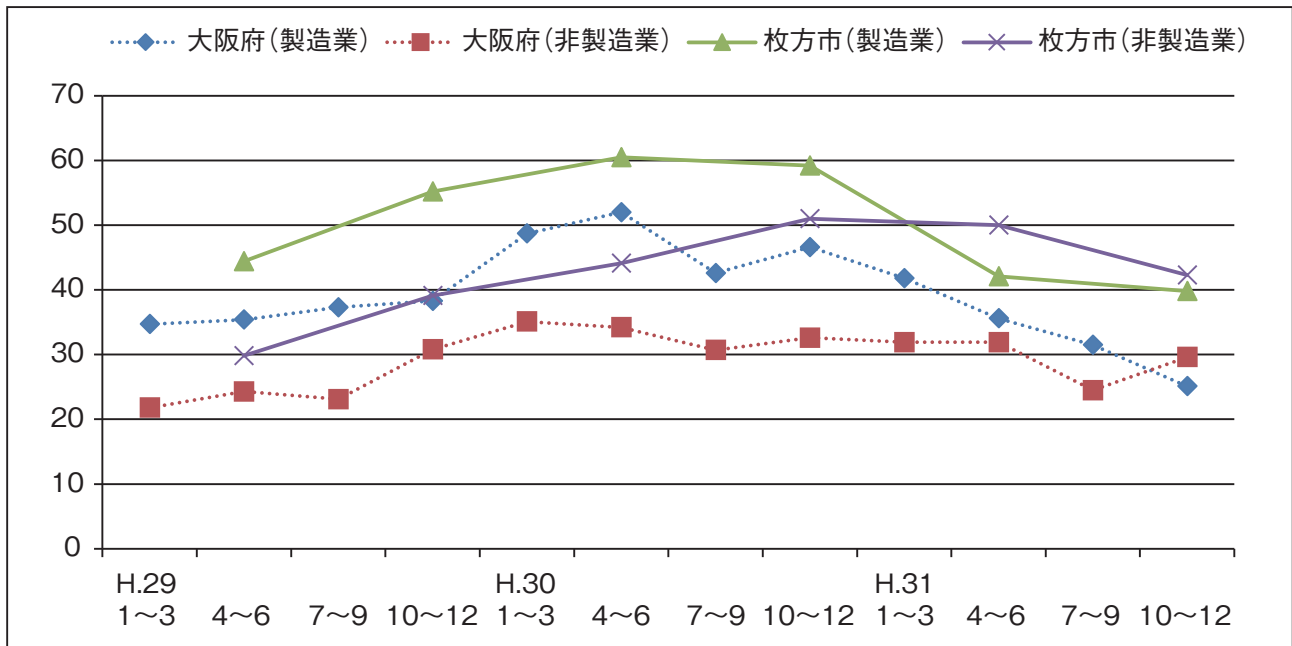


## ● 原材料・部品等の仕入価格

製造業は3期連続の値下り傾向となり、引き続き高い水準にあるものの値上り傾向は落ち着いてきた。

非製造業は前期に引き続き値下り傾向となり、値上り傾向はやや落ち着いてきた。

大阪府は、製造業は前期に引き続き値下り傾向にある一方、非製造業は値上り傾向となった。

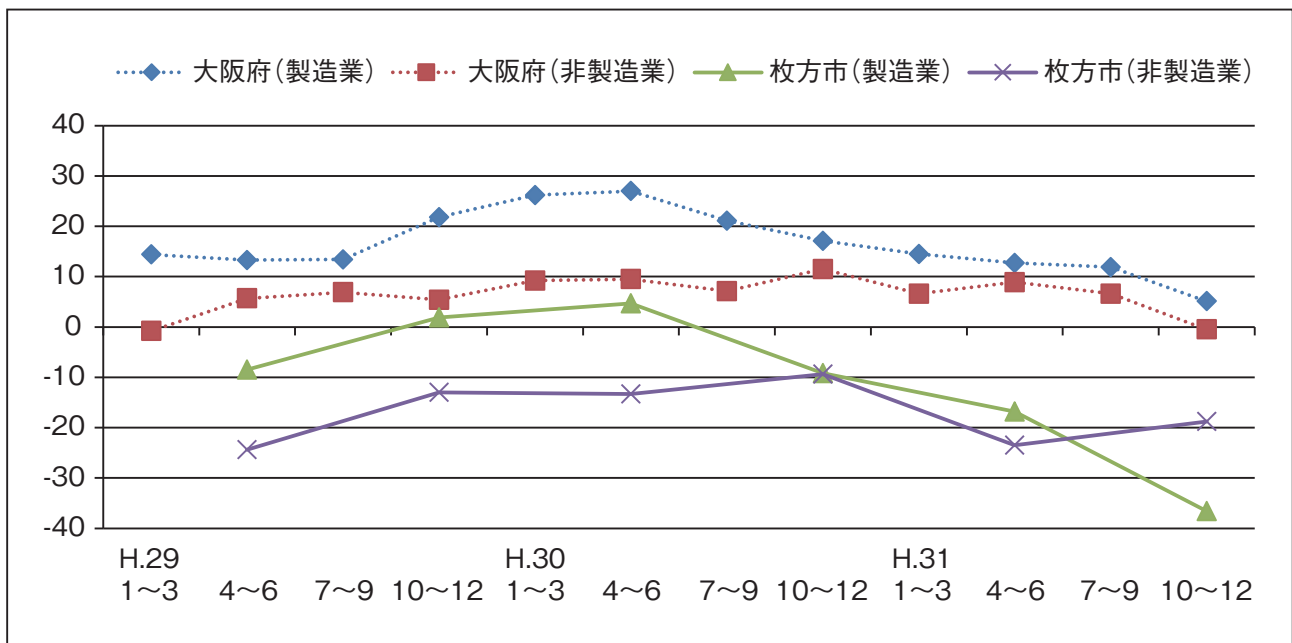


## ● 営業利益

製造業は大幅に減少傾向となり、過去最低を更新した。

非製造業は、卸売業とサービス業以外は増加傾向にあり、D.Iのマイナス幅が縮小した。

大阪府は、製造業・非製造業ともに減少傾向となった。

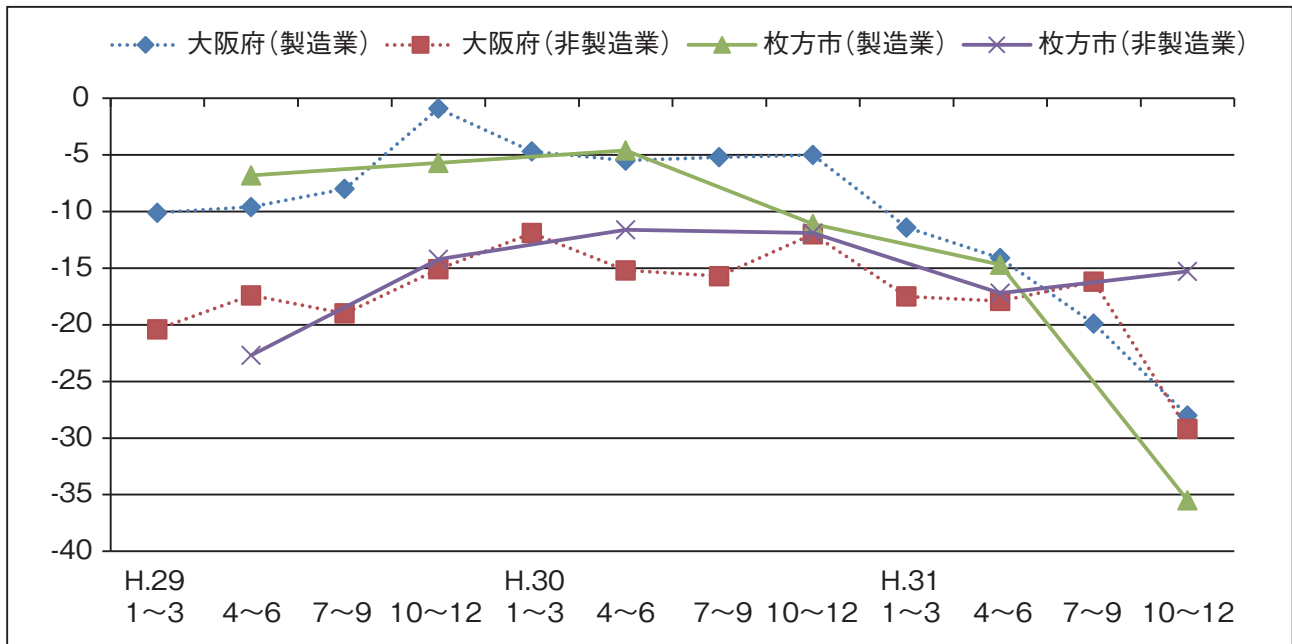


## ● 採算状況

製造業は前期に引き続き悪化傾向が強まり、過去最低を更新した。

非製造業は飲食店・サービス業では悪化傾向が弱まり、D.Iのマイナス幅が縮小している。

大阪府は、製造業・非製造業ともに悪化傾向が強まり、過去最低を更新した。

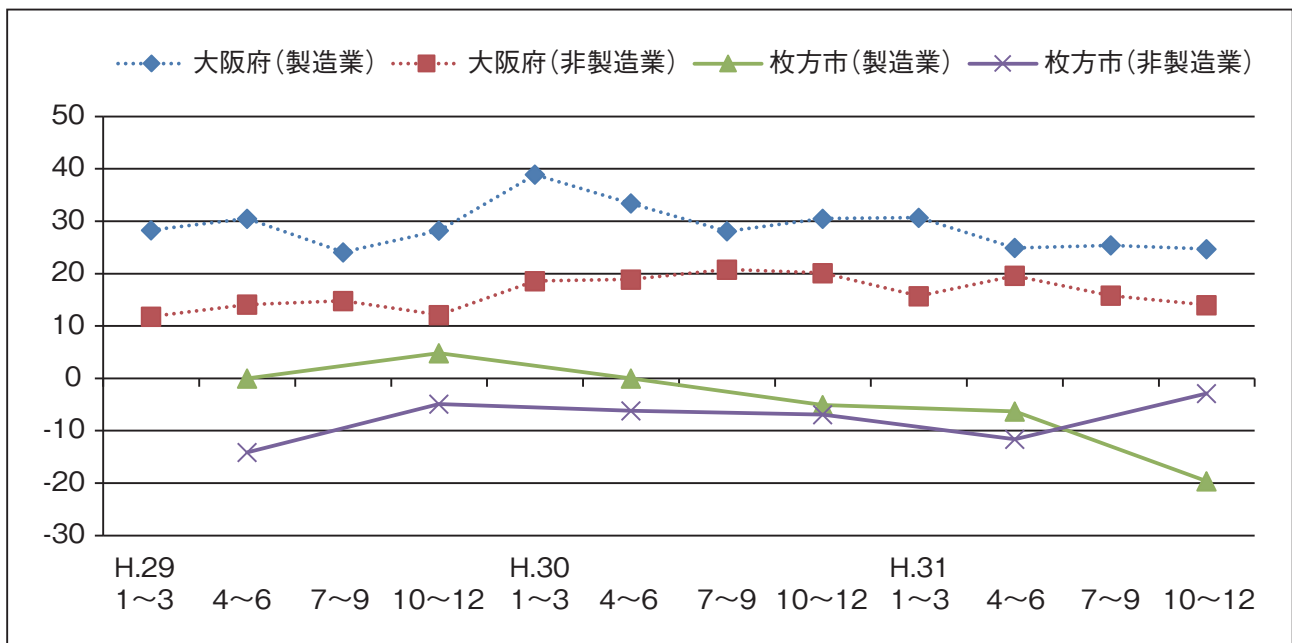


## ● 資金繰り

製造業は4期連続で悪化傾向が強まり、D.Iのマイナス幅が拡大している。

非製造業は、卸売業・飲食店以外は悪化傾向が弱まり、D.Iのマイナス幅が縮小している。

大阪府は、製造業・非製造業ともに若干悪化傾向が弱まっている。

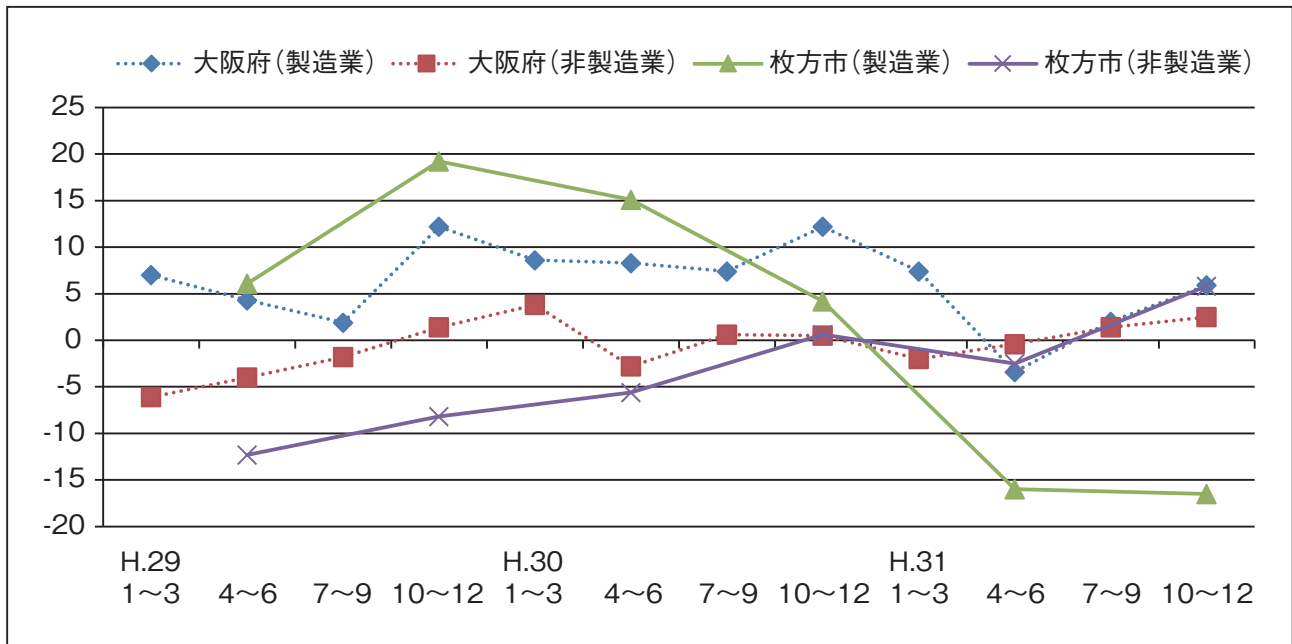


## ● 設備投資

製造業はほぼ横ばいとなった。

非製造業は、建設業・卸売業以外は増加傾向にあり、D.Iがプラスに転じた。

大阪府は、製造業・非製造業ともに増加傾向にある。

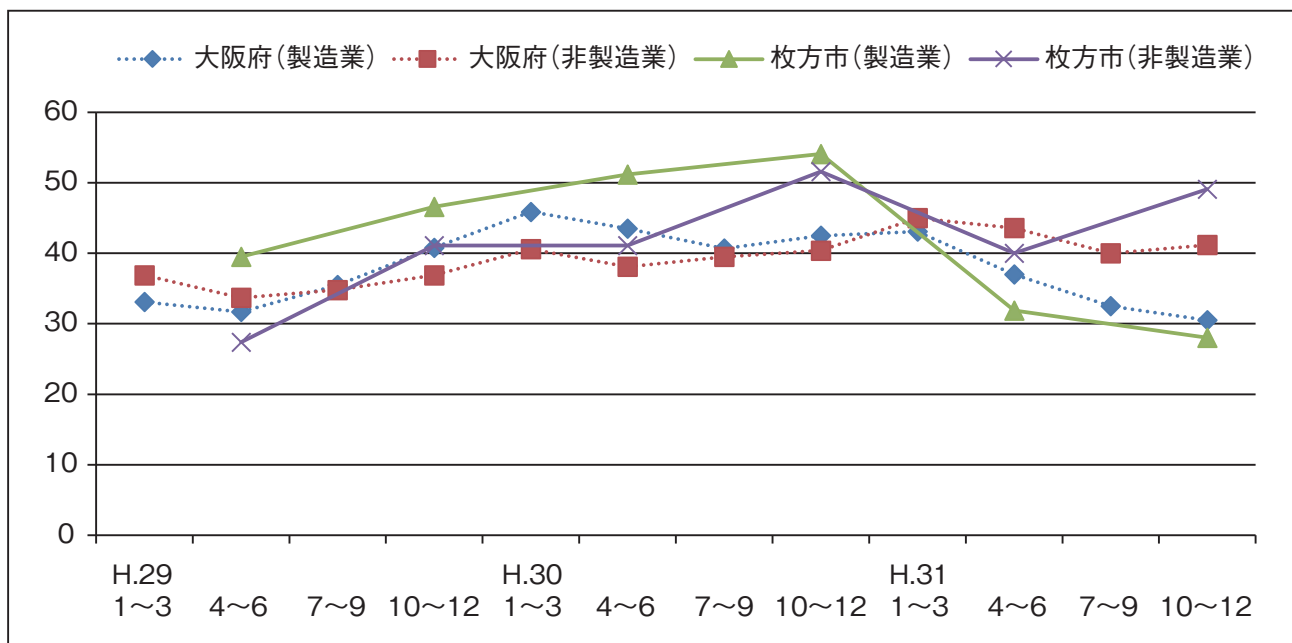


## ● 雇用状況(雇用不足感)

製造業は、D.Iのプラス幅が縮小していることから雇用不足感は弱まってきている。

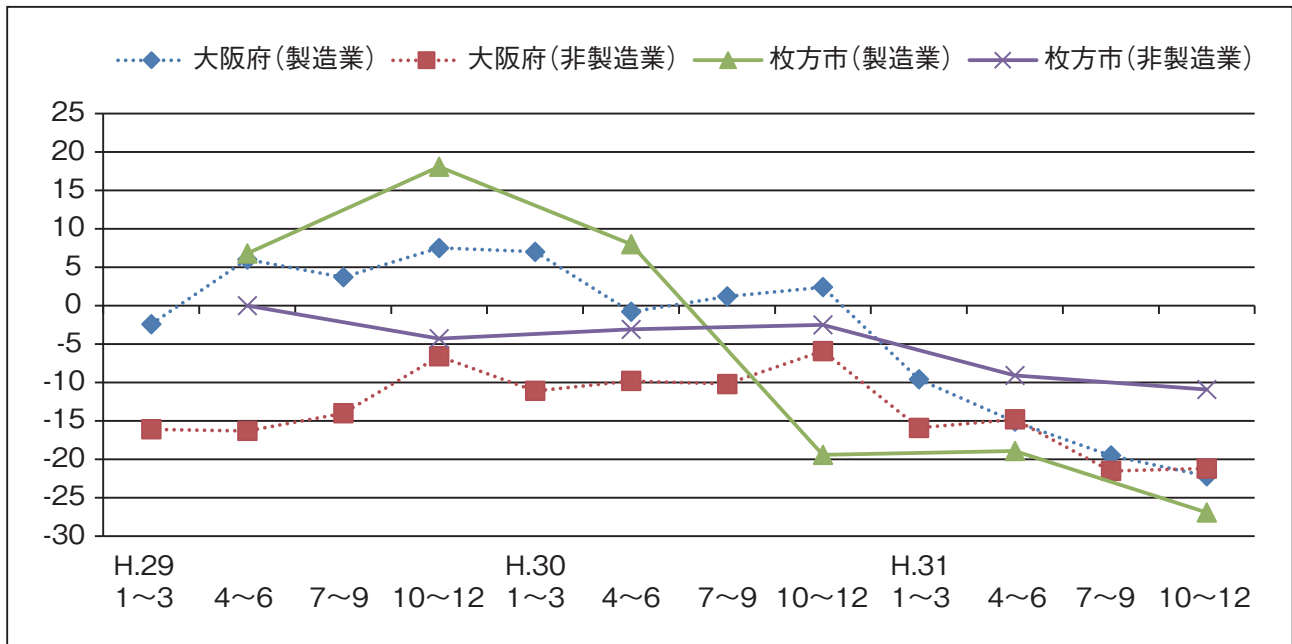
非製造業は、小売業以外では雇用不足感が強まっている。

大阪府は、製造業は雇用不足感が若干弱まっている一方、非製造業は若干強まっている。



## ● 来期の業況見通し

製造業・非製造業ともに、前期に引き続き悪化傾向が強まり、D.Iのマイナス幅が拡大している。  
大阪府は、製造業は悪化傾向が強まっている一方、非製造業はほぼ横ばいとなっている。



## お役立ち情報

### <枚方市立地域活性化支援センター>

#### 【主な事業内容】

##### ■ 経営相談 ※予約制

経営相談では、各分野の専門家や経験豊かな企業OBなどの相談員が、創業・経営等に関するあらゆるお悩みについて個別相談（無料）を行います。

##### ■ 事業者向けセミナー

人材育成、経営革新、販路開拓・拡大、ものづくり現場改善、IT、地域資源活用など各種セミナーを実施します。

##### ■ 貸会議室

各種会議、セミナー、面接等に幅広くお使いいただけます。保育室やパソコン研修室もあります。

【施設住所】 輝きプラザきらら 5階～7階（枚方市車塚1丁目1番1号）

【問い合わせ】 電話番号：050 - 7105 - 8080 F A X 番号：072 - 851 - 5384  
ホームページ URL：http://www.hirakata-kassei.jp/

### <ものづくり企業支援総合サイト>

枚方市の「ものづくり企業（製造業）」の技術、製品情報などを掲載しています。

取引拡大や新製品開発にご利用ください。

ホームページ URL：http://www.waza-kirara.jp/



# 自由意見

## 製造業

- 政府は零細企業の資金繰りを何とかしてもらいたい
- 10月より対前年と比較して非常に悪くなっております。
- 月の売り上げの変動あり。
- だんだんバランスくずれそうです。資金繰りが心配です。
- 世界景気の不安定が小規模企業にどのような影響を及ぼすか不安です。現状は活発な状態が続いていますが。
- 2020年1月以降も忙しい状況が続いている。どこまで継続するのか、人材が雇用できるのかが大きな課題となっている（特に三重県伊賀地区）
- 主に海外市場が減速しているため、建設機械業界全体として需要が減少している。
- 下請、外注業者共、業況は悪いと聞きます。来期は当社や世間一般も悪くなりそうです。
- 人材確保が困難（中途・新卒）
- 人手不足のため、事業拡大できない。
- 比較的好況であるが、先端分野以外ではかなりの落ち込みの声が大きい。既存の落ち込みを、新規顧客の増加や先端分野での増加で補っている状況である。一步一步着実に前進していきたい。
- 当社は製品輸入なので、為替レートによって利益幅が変わる。円高を望むかどうか？

## 建設業

- 労働力不足です。
- 各業者とも人手不足でおもいきって受注も受けられない
- 慢性的人手不足の為、現在外国人技能実習生3名のところを3名追加採用予定。新型肺炎・インフルエンザ等で経済活動の停滞を懸念する。
- 災害により売上があがっているが、今期は減少の傾向だが、悪化することはないと思う。来年度はきびしくなる可能性

## 卸売業

- 大阪府下、京阪地区の公共事業が減少し、民間の開発工事も右肩下がりのため、建設関連の企業、特に中小零細企業は青息吐息であります。また、原価は上がるのに売上原価は上がらないため、利益ができません。思い切った公共投資を出して欲しいです。

## 小売業

- 日々大変厳しい商いが続きそうです。
- 消費税増税の影響が大きい。
- 極端な暖冬の影響で冬商品の売上が低迷しており、年末の売上が非常に悪かった。さらに今後消費税増税の影響も出てくると思われる。また、社内の若返りや働き方改革による休日増に対応するため社員を募集しているが、求人を出しても応募が少なく、あったとしても数日も続かず辞めてしまうことが多い。外国人の技能実習制度等にも業種があたりず採用活動がうまく進まない。
- 小売の方までインバウンドの影響は少ないように思うが、流通の流れは悪くなっている。過剰生産で、ダブツキはなくなった反面、品切れをするのは困ったものです。
- 薬価改正で売り上げは低下した。仕入れについては消費税増税で値上がりし、採算性が悪化する。

## 飲食業

- 競合店ができて売上も販価も上がりません。安売競争になっています。
- 歩きながらの飲食、電車の中での飲食をする人が多くみられるようになった。マナーを考えさせられます。
- 10月からの消費税アップに伴い、値上げを行った。売上は若干増えたが、原価、人件費が増加し利益は横ばい。政府の対策が終了した6月からの売り上げが心配です。

## ■ サービス業

- あきらめないでしっかりとアベノミクス3本の矢をやりきってください。
- 働き方改革制度が零細企業をダメにしていると思う。
- 基本的に季節柄の商売なので、前期との比較は難しいですが、昨年の同時期とくらべると売上、利益は横ばいですが、税金に対する準備ができるようになりました。あとは消費税の増加の影響、設備、店舗の修繕などの資金作りを思案中です。
- 忙しいのにお金がない(投資が回らない)雇用も足りない。時間がどんどんなくなる、つらい事ばかり言われます。
- 原料代は上がるのに、それを当社製品に転嫁するとお客様が購入を控えるようになり業績が悪くなる(増税がさらに購買意欲を下げる)また、お客様が高齢化されており、年金生活の方が多いため、なかなか売上に繋がらない。
- 今年2020年は売上があがり利益がたくさんでよう、たくさん企画を生みだしていきたい。
- 仕事はいくらでもあるのに、人手不足のため、お客様にはお断りするしかありません。
- 消費税増税によるコスト高がマイナス影響として出ています。
- 小さな事務所なのでこれでよい
- サービス業のため商品や原材料は発生しません。人員不足のため業績が低下しています。雇用したくても人材確保できません。
- テニス業界はブームが去り落ち着きました。これからが実力を試されますので力をつけてがんばります。

## 分析項目表

## ● 出荷・売上高

	構成比 (%)			D.I
	増加した	横ばい	減少した	
製造業	19.4	36.6	44.1	-24.7
非製造業	32.4	38.6	29.0	3.4
建設業	34.1	40.9	25.0	9.1
卸売業	13.3	46.7	40.0	-26.7
小売業	32.1	21.4	46.4	-14.3
飲食店	15.4	46.2	38.5	-23.1
サービス業	38.2	40.8	21.1	17.1
合計	27.9	37.9	34.2	-6.3

## ● 製・商品、サービス、請負・客等の単価

	構成比 (%)			D.I
	値上りした	横ばい	値下りした	
製造業	10.8	81.7	7.5	3.2
非製造業	32.2	63.2	4.7	27.5
建設業	40.5	57.1	2.4	38.1
卸売業	20.0	66.7	13.3	6.7
小売業	39.3	53.6	7.1	32.1
飲食店	16.7	83.3	0.0	16.7
サービス業	29.7	66.2	4.1	25.7
合計	24.6	69.7	5.7	18.9

## ● 原材料・部品等の仕入価格

	構成比 (%)			D.I
	値上りした	横ばい	値下りした	
製造業	44.1	51.6	4.3	39.8
非製造業	42.9	56.5	0.6	42.3
建設業	51.2	48.8	0.0	51.2
卸売業	40.0	53.3	6.7	33.3
小売業	40.7	59.3	0.0	40.7
飲食店	84.6	15.4	0.0	84.6
サービス業	31.9	68.1	0.0	31.9
合計	43.3	54.8	1.9	41.4

## ● 営業利益

	構成比 (%)			D.I
	値上りした	横ばい	値下りした	
製造業	10.8	41.9	47.3	-36.6
非製造業	19.3	42.6	38.1	-18.8
建設業	20.5	47.7	31.8	-11.4
卸売業	6.7	46.7	46.7	-40.0
小売業	14.3	39.3	46.4	-32.1
飲食店	15.4	38.5	46.2	-30.8
サービス業	23.7	40.8	35.5	-11.8
合計	16.4	42.4	41.3	-24.9

## ● 採算状況

	構成比 (%)			D.I
	良くなった	横ばい	悪くなった	
製造業	7.5	49.5	43.0	-35.5
非製造業	18.8	47.2	34.1	-15.3
建設業	13.6	56.8	29.5	-15.9
卸売業	6.7	33.3	60.0	-53.3
小売業	10.7	50.0	39.3	-28.6
飲食店	7.7	46.2	46.2	-38.5
サービス業	28.9	43.4	27.6	1.3
合計	14.9	48.0	37.2	-22.3

## ● 資金繰り

	構成比 (%)			D.I
	良くなった	横ばい	悪くなった	
製造業	6.5	67.4	26.1	-19.6
非製造業	17.7	61.7	20.6	-2.9
建設業	15.9	72.7	11.4	4.5
卸売業	6.7	46.7	46.7	-40.0
小売業	17.9	60.7	21.4	-3.6
飲食店	7.7	46.2	46.2	-38.5
サービス業	22.7	61.3	16.0	6.7
合計	13.9	63.7	22.5	-8.6

## ● 設備投資

	構成比 (%)			D.I
	増加した	横ばい	減少した	
製造業	9.9	63.7	26.4	-16.5
非製造業	23.4	59.1	17.5	5.8
建設業	14.0	58.1	27.9	-14.0
卸売業	7.1	64.3	28.6	-21.4
小売業	10.7	71.4	17.9	-7.1
飲食店	23.1	61.5	15.4	7.7
サービス業	37.0	53.4	9.6	27.4
合計	18.7	60.7	20.6	-1.9

## ● 雇用状況

	構成比 (%)			D.I
	不足	充足	過剰	
製造業	41.9	44.1	14.0	28.0
非製造業	52.0	45.1	2.9	49.1
建設業	75.0	25.0	0.0	75.0
卸売業	14.3	85.7	0.0	14.3
小売業	46.4	50.0	3.6	42.9
飲食店	38.5	53.8	7.7	30.8
サービス業	50.0	45.9	4.1	45.9
合計	48.5	44.7	6.8	41.7

## ● 来期の業況見通し

	構成比 (%)			D.I
	良くなる	横ばい	悪くなる	
製造業	10.8	51.6	37.6	-26.9
非製造業	21.7	45.7	32.6	-10.9
建設業	11.6	55.8	32.6	-20.9
卸売業	13.3	53.3	33.3	-20.0
小売業	10.7	46.4	42.9	-32.1
飲食店	23.1	38.5	38.5	-15.4
サービス業	32.9	39.5	27.6	5.3
合計	17.9	47.8	34.3	-16.4

# 枚方市（商工振興課）からのお知らせ

## 枚方市ふるさと寄附金

■「枚方市地域経済活性化基金」が寄付できる項目に追加となりました！

### 【基金の活用内容】

市内事業者の経営基盤の強化や安定につながる地域経済の活性化にかかる事業に活用します。

### 【基金ではこんなことをめざしています】

市内で創業する事業者の支援や、市内事業者の経営基盤の強化や安定のため活用します。

※寄附の申し込みについては、枚方市ホームページやポータルサイト「さとふる」・「ふるさとチョイス」をご覧ください

## 市内中小企業の設備投資を支援します！（先端設備等導入計画）

■設備にかかる固定資産税が3年間ゼロになります。

### 【制度の概要】

市の基本計画に基づき「先端設備等導入計画」の認定を受けた市内中小企業事業者が、旧モデル比で年平均1%以上の生産性向上を満たすなどの設備を導入した場合、設備にかかる固定資産税が3年間ゼロになります。

※申請や制度の詳細については枚方市商工振興課ホームページをご覧ください。

## 地域を牽引する企業の投資を支援！（地域未来投資促進法）

地域未来投資促進法に基づき、枚方市と大阪府が共同で策定した「大阪府枚方市 基本計画」について、令和元年6月28日付けで国の同意を得ました。これにより、枚方市において地域経済牽引事業<sup>\*1</sup>を行う事業者は、大阪府知事の承認を受けると、設備投資に対する減税措置などの支援措置を受けることが可能となります。

※1「地域経済牽引事業」とは、地域の特性（産業の集積、観光資源、特産物、技術、人材、情報その他の自然的、経済的又は社会的な観点からみた特性）を生かして高い付加価値を創出し、かつ、地域内の取引の拡大、受注の増大その他の地域の事業者に対する相当の経済的効果を及ぼすことにより、地域における経済活動を牽引する事業のこと。

※制度の詳細については枚方市商工振興課ホームページをご覧ください。

## お問い合わせ

枚方市 商工振興課

電話 072-841-1381

FAX 072-841-1278

# キラリ輝く枚方の事業者紹介

## 株式会社ノボル電機

ホーンスピーカーを主製品とし1945年、大阪市東成区で創業した株式会社ノボル電機。三代目・現社長の元基氏は、大学卒業後陸上自衛隊に入隊したという異色の経歴を持ち、28歳で入社。以後、社内の営業や経理などの様々な業務を経験し、2018年、本社を枚方市に移転した際に社長に就任しました。

### 株式会社 ノボル電機

枚方市茄子作南町 229-1

電話：072-852-5860



今回インタビューした経営者さん  
株式会社ノボル電機 代表取締役 猪奥 元基

## 尖ったニーズの探究～「世の中に必要とされる会社」を目指して～

当社は拡声音響装置の専門メーカーとして業務用のスピーカーやアンプ、マイク、汽笛、メガホンを製造・販売しています。広報車や防災行政無線用のスピーカー、建築物などで使用される放送装置を想像してもらえるとイメージしやすいと思います。私は、拡声音響業界の中で当社は一番小さい会社だと思っています。資本金・営業力・開発力・製造力何を取っても他社と同じことをしては勝てません。その中でどのように生き残っていくかを追求し、尖ったニーズに対応する差別化戦略にたどり着きました。そこで、先代である会長がよく言っていた「世の中に必要とされる会社」を合言葉に、製品開発に力を入れることにしました。ユーザーの隠れたニーズを探し、それを具体化するために、自社で市場調査・マーケティング活動を行い、試作品の設計、開発を行っています。製作するものが全てヒットすれば良いのですが、そうはいかないので従業員と試行錯誤しながら企画を練っています。完成した製品には、一つ一つに差別化ポイントがあります。お客様のニーズを拾い、探し当て、付加価値を認めもらえるような、ものづくりに取り組んでいます。

また、有給休暇の1時間単位取得やインフルエンザ予防接種の集団接種にも積極的に取り組んでいます。福利厚生充実による職場づくりでも生産性向上を目指しています。



## 第31回中小企業優秀新技術・新製品賞「優良賞」を受賞



主力商品の1つにメガホンがあり、2017年に発売した「かる～いホン」が一押し商品です。名前の通り旧製品より重さを約30%ダウンすることに成功しました。メガホンに対して、価格以外のニーズを調べると「録音再生を付けてほしい」「折りたためるようにしてほしい」など色々なお話を聞きました。当初は録音機能を搭載することを考えましたがニーズを追い求めていくと、実際使用している現場の方が

ら「自分の声を届けるためにメガホンを持っているのだから録音再生はいらない」ということを聞き断念しました。その時、「イベント期間中に重たいものを2時間継続的に持ち続けると凄く負担になる」と聞いたことを思い出し、メガホンは業務を遂行するためのお手伝いをする製品ということに気づき、「軽さ」という点にたどり着きました。

軽さを追求した「かる～いホン」は、2018年にりそな中小企業振興財団・日刊工業新聞主催の「第31回中小企業優秀新技術・新製品賞」の優良賞をいただきました。メガホンの「電池で稼働し、マイクで集音、アンプで増幅、トランペットスピーカーで音を拡げる」といった基本原理は半世紀以上前には完成していましたが、今回受賞した「かる～いホン」も基本原理は何も変わっていません。最先端の技術と比べると化石化したような技術ですが、最先端技術がひしめき合う中で入賞できたことは、とても驚きました。また、お客様のニーズを従業員と求めた結果が、この様に評価されたことをとても嬉しく思います。



## 時代の隙間～これからのノボル電機～

これからは、堅実な社風と中核事業としての拡声音響事業を軸として、周辺分野へ展開していきたいです。当社の取り扱っている製品ラインナップやカテゴリーは、市場が確実に縮小しています。今後人口が減っていく時代に、国内生産・国内需要の中で同じモノを同じように進めていくと尻すぼみになっていきます。しかし産業が縮んでいってもやり方次第でなんとでもなるとも思っています。諸先輩方が守られてきた企業風土を大切にしながら、従業員の方々と30年後をどのように歩んでいけるかを日々考えています。



「隙間」という表現が私は好きなのですが、大企業が効率化や選択と集中による事業分野の見直しを行っている中で、当社が入っていける「隙間」が生まれると思っています。そのためにはアンテナを高く張り、市場動向に合わせ、堅実に成長していくことを目標としています。そしてお客様から見たら「今まで何で作らなかったん？」ぐらいの、ちょっとした違いを埋めていきたいと思っています。20年前に汽笛分野への参入を行いました。この事例がまさしく「隙間」に入り込んだ取り組みです。汽笛という分野は船舶関係の機械メーカーが中心に製造していました。そこへ当社が拡声音響メーカーとして音を大きくさせる技術を活用することで参入しました。拡声音響メーカーで汽笛を販売しているのは当社だけです。現在、私は30代と若く、先代もとても



元気です。私が事業の方向性を考える際に、行き過ぎた時は、経験がある先代がブレーキを踏んでくれたらと思っています。その流れの中でやれることや新規事業の方向性を考えていきます。ただノボル電機という会社が単独で出来ることは限られているので、市内の企業との協業で何か出来ることがあればと思っています。そしてなによりも枚方市の「安心安全のまちづくり」に貢献していきたいです。

## 枚方市商工だより

発行 枚方市商工振興課  
編集 北大阪商工会議所  
印刷 (株)アドバンス  
発行日 令和2年3月